

2026年5月22日  
石川県七尾市  
公益財団法人イオン環境財団

## 「能登七尾市復興祈念植樹」を実施

～復興への願いを込めて～

石川県七尾市（市長 茶谷義隆）と公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長 以下、当財団）は、5月30日（土）七尾市馬出町の小丸山城址公園にて、「能登七尾市復興祈念植樹」を実施します。

小丸山城址公園は、戦国武将 前田利家が16世紀後半に築いた小丸山城の跡地を整備したもので、歴史散策と市民の憩いの場となっています。現在は2024年元日の震災からの復旧中で2026年度末に完了予定であり、復興への願いを込めて植樹を実施します。

本植樹では、この公園が地域のさらなる憩いの場となることを願い、シンボルとなる花木として、ジンダイアケボノとサルスベリの若木15本を近隣住民の皆さまと植樹します。

両者は、次代を担う子どもたちに豊かな自然を引き継ぐため、今後も里山づくりをはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

日 時	2026年5月30日（土）10時～11時（雨天決行・荒天中止）		
植樹地	石川県七尾市小丸山城址公園（石川県七尾市馬出町子部1-1）		
参加者	60名		
植樹本数	15本（樹種 ジンダイアケボノ・サルスベリ）		
主 催	石川県七尾市・公益財団法人イオン環境財団		
協 力	イオン株式会社・イオンリテール株式会社・マックスバリュ北陸株式会社 イオングループ労働組合連合会		
出席者 （敬称略）	七尾市	市長	茶谷 義隆
	七尾市 市議会	議長	佐藤 喜典
	七尾市 御祓地域づくり協議会	会長	鳥居 貞利
	イオン株式会社サステナビリティ担当	責任者	渡邊 祐子
	公益財団法人イオンワンパーセントクラブ	理事長	渡邊 廣之
	イオングループ労働組合連合会	副会長	伊本 博志
	マックスバリュ北陸株式会社	社長	湊 博昭
	イオンリテール株式会社執行役員中部カンパニー	支社長	大杉 尚裕
	公益財団法人イオン環境財団	専務理事	山本 百合子

以上

## 参考資料

### 【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと岡田卓也（当財団名誉理事長 イオン株式会社 名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境に特化した民間企業単独の財団法人として1990年に設立されました。以来「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業を中心に活動しています。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

（イオン環境財団HP：<https://www.aeonkankyozaidan.or.jp/>）

### ■「植樹」事業

万里の長城での100万本をはじめ、国内外の地域行政と協力し、自然災害・紛争や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに活動を継続実施しています。当財団を含むイオン全体の植樹本数は、1991年から累計約1,287万本（2026年2月末時点）を越えています。

#### 【石川県における活動】

年月	植樹地	植樹本数
2004年～06年	加賀海岸	30,000本
2008年10月	かほく市	170本
2022年 6月	金沢城大手堀さくら植樹（成木）	20本
2024年 3月	西松任駅開業記念さくら植樹（成木）	15本

### ■「助成」事業

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年総額1億円の助成を行っています。2025年までの35年間で、累計3,657団体、助成金額は32億9,235万円となりました。

#### 【石川県での助成先】

累計：27団体 総額：1,913万円

### ■「環境教育・共同研究」事業

国際的な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに、環境分野で活躍する人材育成プログラムを実施しています。大学連携では、京都大学・千葉大学・東京大学・東北大学・早稲田大学と、地域が求める里山づくりを推進しています。国連大学とはグローバルで活躍する環境リーダーを育成するプログラムをスタートしました。また、日本ユネスコエコパークネットワーク、日本ジオパークネットワークとは、生物多様性や地質遺産の保全と利活用による持続可能な地域社会を目指し連携しています。